



小さな来訪者 大型モニターに 興味津々

第2回定例会《概要》——2

委員会レポート —— 4

委員会の活動 —— 6

議案の議決結果 —— 8

一般質問 —— 9

新しい議会体制が決まりました —— 14

6月8日と15日の両日、徳山小学校の2、3年生が生活科の学習の一環として議場を見学しました。

職員が説明する市議会の役割について熱心に耳を傾けた後、前方の大型モニターに自分たちの姿が映し出されると、大きな歓声を上げていました。



防災行政無線施設整備工事 賛成多数で可決

主な日程

5月25日 / 本会議

- 提案説明
- 質疑
- 委員会付託

5月31日～6月3日 / 本会議

- 一般質問(5月31日～6月3日)

6月4日・7日 / 委員会

- 付託議案等の審査

6月16日 / 本会議

- 委員長報告
- 討論
- 表決

6月23日 / 本会議

- 議会人事関係

7月21日 / 本会議・委員会

- 防災行政無線施設整備工事
の契約議案
(提案説明から表決まで)

定例会の概要

平成22年第2回定例会は、会期を二度延長し、5月25日から7月21日までの58日間開催しました。

市長提出議案22件を含む 24件を同意・承認・可決

定例会初日の5月25日、市長提出議案の提案説明を受け、質疑を行いました。委員会付託した議案等は、6月4・7日に各常任委員会で審査しました。6月16日は、補正予算の専決処分を含む市長提出議案等を

いずれも全会一致で承認・可決しました。

6月23日は、議長選挙等の議会人事を行いました。新たに財政問題調査特別委員会を設置する委員会提出議案、監査委員を選任する議案が提出され、それぞれ全会一致で可決しました。

7月21日は、防災行政無線

施設整備工事の契約議案が上程され、委員会付託しました。本会議の討論では、「既設消防無線との接続に結論が出る8月末まで待つてから契約すべきではないか」との反対意見がありました。

また、「執行部の答弁では、既設消防無線との接続以外の部分は着工できるとのことである。万が一、接続ができなかったとしても、それは我々の責任ではなく、落札業者の責任である」「本市の防災体制の整備拡充の第一歩に期待する」との賛成意見がありました。

採決の結果、本件は賛成多数で可決しました。

行政報告に質疑集中

防災行政無線施設整備工事は、市民の安心・安全のため、市役所及び消防本部からデジタル無線によって、徳山地域・新南陽地域に設置する屋外スピーカー（114カ所）を通して、気象情報や災害情報を市民に伝える施設を整備する工事です。

この工事について、「入札中止」や「入札行為への異議申し立て」などの問題が生じ、第2回定例会では、延べ4日間にわたる行政報告において質疑を行いました。

A 入札中止の経緯の報告

5月31日、執行部から「入札公告を行った後、既存の消防無線との接続を確実に行う必要があること等から、入札資格条件に最上級資格の第1級陸上無線技術士を求めるなど、変更公告を行った。その後、市民に不安を与える内容の新聞報道があったため、入札を中止した」との報告がありました。

質疑では、厳しい入札資格条件を求めたことについて、議員から「共同企業体が資格を持っていれば、地元業者に資格がなくても工事はできるのではないか」「参加できる企業が少な

く、地元企業の育成にならないのではないか」との質疑がありました。

執行部は「市民の安心・安全のため、最高の資格を求めた」と答えました。

B 議案の提案見送り

工事の契約議案が提案される予定であった6月14日の本会議で、執行部から「入札に参加した一業者から、今回の入札行為に異議申立書が提出されたので、提案を見送りたい」との説明がありました。

市議会は議案の提案見送りについての疑義を質するため、行政報告を求めました。

防災行政無線に係る行政報告

- A 5月31日 行政報告（入札中止の経緯）
- B 6月14日 異議申立書提出による議案の提案の見送り
- C 6月23日 行政報告（議案提案見送り）
会期延長（～7月2日）
- D 7月2日 行政報告（議案提案見送り）
会期延長（～7月21日）
- E 7月20日 行政報告（議案提案見送り）
- 7月21日 議案上程（賛成多数で可決）

2度の会期延長を経て行った行政報告は20日に終了し、翌21日に防災行政無線施設整備工事の契約議案が上程されました。

C 聞き取り調査の提出を要求

6月23日、執行部から「落札業者と異議を申し立てた業者の双方から聞き取り調査をした結果、異議申し立ては業者の誤解から出たものであった」との報告がありました。

議員から「議会が止まってしまっている。業者の誤解で済む問題ではない。調査内容を明白にしてほしい」との意見があり、議会として、聞き取り調査の提出を求めることに決定しました。

執行部が資料を準備する時

間を取るため、会期を7月2日まで延長しました。

※後日、「誤解」ではなく「認識の違い」との報告がありました。

D 黒塗り部分について質疑が集中

7月2日、執行部から聞き取り調査が提出され、前回に引き続き、質疑を続行しましたが、議員から「提出された調査書は黒塗り部分が多く、異議申し立てにより議案の提案を見送った根拠が判断できない」との意見がありました。

執行部が黒塗り部分の開示

E 聞き取り調査のほとんどを開示

7月20日、執行部から、黒塗りのほとんどない聞き取り調査が提出され、前回に引き続き、質疑を続行しました。

議員から「既設の消防無線に接続できるか技術確認を得なければ、契約議案が上程されても、議会として判断できない」との意見がありました。

これに対し、島津市長は、「技術確認は8月中にも業者に回答をもらう。既設の消防無線に接続できない場合、今回の落札業者には辞退してもらう」と答えました。



について、業者と調整するため、会期を7月21日まで延長しました。

委員会レポート

各常任委員会における議案の審査状況は、次のとおりです。

新しい体育館の完成が待たれる
遠石小学校



教育福祉委員会

企画総務委員会

防災体制の 整備拡充の 一歩に期待

工事請負契約の締結 (防災行政無線施設整備工事)

この工事は、入札が中止された経緯と異議申立書が提出されたことによる議案の提案見送りについて、行政報告の後、議案が上程され、委員会付託されました。

主な質疑として、「応札業者は何社で、応札額はいくらか」との問いに対し、「応札業者は、日本無線、三菱電機、東芝の3社。落札業者の応札額は議案の金額を1・05で割り戻した額。2、3番目の業者の応札額は、入札結果の公表に当たするため、議決後まで公表

できない」との答弁でした。
また、「この契約は、すでに1カ月半程度遅れているが、工期に間に合うのか」との問いに対し、「発注時に監督体制の強化や、確実に工期内に完成するよう十分な事前調整を行いたい」との答弁でした。
また、「メンテナンス等、年間の維持管理費はいくらか」との問いに対し、「114カ所にスピーカーを設置した後の管理として、年1回の精密点検等、概算で600万円と考

質疑を終了し、委員から継続審査の動議がありました。が、採決の結果、この動議は賛成少数で否決されました。
討論に入り、「現段階では、工事が確実に進められる状態ではない」、「工事は万全な体制で臨むべき」との反対意見、また、「本市の防災体制の整備拡充の一歩に期待する」、「防災無線は、市民のため、一日も早い発注を願う」との賛成意見がありました。
採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

屋体の改築主体工事は 安全・騒音対策に十分配慮を

工事請負契約の締結 (遠石小学校屋体改築主体工事)

主な質疑として、「遠石小学校の体育館の完成は、3月18日となっている。卒業式に間に合うのか」との問いに対し、「新しい体育館で卒業式を行うことは困難だと考えている。

卒業式は文化会館で行うと聞いている」との答弁でした。
また、「遠石小学校は住宅密集地である。騒音対策や安全対策はどうか」との問いに対し、「防音対策は、防音ネットを設置する。また、安全対策はガードマンを配置し、車の出入りと重ならないよう十分配

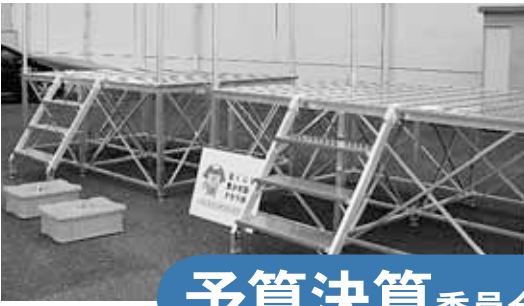
慮する」との答弁でした。
採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

国民健康保険条例の 一部改正

この議案は、法律の改正及び政令が公布されたことに伴い、所要の改正を行うものです。
主な質疑として、「所得の少ない方の数に応じた国や都道府県の財政支援制度とは」との問いに対し、「一つは、国の保険基盤安定負担金として、

国保料を軽減することに対して支援するもの。もう一つは、低所得者のために保険財政に影響する部分を支援するもので、平成25年度まで延長される」との答弁でした。
また、「短期被保険者証を交付する具体的な時期と交付対象者は」との問いに対し、「7月1日から交付する。また、4月1日現在、18歳以下の被保険者は199名である」との答弁でした。
採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

自治総合センターの宝くじ助成金を受け購入したイベント機材



予算決算委員会

主な質疑として、コミュニティ推進事業費について、「宝くじの助成対象となる団体の選定方法は」との問いに対し、「昨年10月、すべてのコミュニティ組織に案内し、9団体から要望が出た。その団体が協

議の上、抽選で順番をつけ、すべての要望を県を通じて自治総合センターに申請した。その結果、上位4団体が補助対象となった」との答弁でした。また、自主防災組織育成事業費について、「補助金で整備された器具等は、各地区から個別に要望されたのか」との

問いに対し、「地区によって必要なものが異なる。申請時に災害用備品等の情報を提供し、その中から決めていただいている」との答弁でした。また、介護基盤緊急整備等事業費について、「グループホームを新たに建設する2カ所と開設を準備する4カ所はどこか」との問いに対し、「建設する2カ所は、岡田町と久米田中。開設の準備は、城ヶ丘と熊毛の樋口と建設する2カ所を加えた4カ所である」との答弁でした。

また、離島漁業再生支援事業費について、「平成21年度までの補助事業を、なぜもう1年行うのか」との問いに対し、「当初5年計画であった補助事業を1年遅れて実施したため、実質4年間の事業として取り組んだ。しかし、会計検査で5年間の事業が必要であると指摘されたため、今年度は単独市費で行うこととなった」との答弁でした。討論なく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

歩道部分の急勾配が指摘された市道須々万中央幹線を現地視察



環境建設委員会

市道認定、県や開発業者と しつかり協議を

市道の認定 及び廃止について

今回提案された市道は、認定29路線、廃止5路線で、現地調査をした上で審査を行いました。

主な質疑として、「宅地開発に伴い造られた道で、通り抜けが不可能なものがある。開発業者に対し、通り抜けを考慮した開発をするよう求められないか」との問いに対し、「街の形態としては、道路のネットワークが形成されているほうが良く、開発業者と道路形状を協議する際、お願いをしているが、強制はできない」との答弁でした。

「工事請負契約の締結
新南陽浄化センター電気設備工事」

「移管される須々万中央幹線について、県との協議はどうなっているのか」との問いに対し、「補修が必要な箇所を現地確認し、県に申し入れをしてきた。歩道部分が急勾配で、通行に支障がある部分は、県と現地確認を行い、要望していきたい」との答弁でした。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

本件は、老朽化が著しい新南陽浄化センター電気設備の工事請負契約に係る議案です。主な質疑として、「過去ずっと同一業者が落札している。初めに手がけた業者以外は利益にならない設計金額になっているのではないか」との問いに対し、「利益になるかどうかは企業自身が考えることであり、行政としては公平な入札を行うことが大切と考えている」との答弁でした。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

委員会で調査した内容を 本会議に報告しました

企画総務委員会

友好都市・姉妹都市交流について

執行部から、「国際交流の推進は、お互いの異なった文化や生活様式を学び、自らの地域社会全体を再認識し、地域の振興や活性化を図る一つの手段である」との説明がありました。

主な質疑として、**淄博**市を含め、すでに姉妹都市提携している都市との関係は」との問いに対し、「現在、提携している3都市とは、今でも市民レベルの交流が続いている。淄博市とは、経済発展の著しいアジア圏、その中でも東アジアに目を向けた新たな交流活動を展開する必要がある」との答弁でした。

また、委員から「淄博市の件は、市民にアピールされていない。また、他の姉妹都市につ

いても、十分に検証されていない。国際交流は、議会も議論していることを含め、市民に積極的な案内が必要」との意見がありました。

淄博市の紹介

山東省の省都、済南市の東約70キロメートルに位置する、人口約418万人、面積5938平方キロメートルの経済、文化、交通、貿易の中心都市です



淄博市人民政府新聞弁公室編『中国淄博』から

土地開発公社の解散に係る市の取り組みについて

執行部から、「厳しい経営状況が続いている土地開発公社のあり方について、必要性和採算性を検討してきた。昨今の地価下落等による公社の必要性は低下しており、債務保証を行っている市の債務は年々増加している。以上のことから、抜本的改革として解散へ結論づけなければならない」との説明がありました。

主な質疑として、「公社の存続と25年度までに清算するのとではどちらが得か」との問いに対し、「まず市民の負担を減らすことが大切。第三セクター等改革推進債で、一気に清算を進めたい」との答弁でした。

また、「第三セクター等改革推進債を活用する」とはいえ、市が借金して塩漬け土地を買うことには変わりなく、固定経費等がゼロになるわけではない。そういった経費の計算をしているのか」との問いに対し、「全体は把握していないが、第三セクター等改革推進債16億円を10年の償還期間で返済すると、利子は1億2000万円程度、年間の負担額は1200万円と試算している」との答弁でした。

不法投棄に関する要望決議を 委員会提出議案として提出

環境建設委員会では、昨年12月から不法投棄の現状調査、法令・条例や先進地事例の研究を行ってきました。

この調査結果を踏まえ、議長に「廃棄物の不法投棄防止施策の推進に関する要望決議を委員会提出議案として提出。6月16日の本会議で採決の結果、全会一致で可決しました。



不法投棄の現状を把握するため、現地調査を行いました

〔決議文〕

本市では、環境基本条例や廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に基づき、廃棄物の適正な処理と不法投棄防止に向けた各種対策を進めてきたところである。

しかし、依然として廃棄物の不法投棄は後を絶たず、市民の健康で安全かつ快適な文化的生活を確保するためには、これまで以上

に、市民、事業者、行政がそれぞれの責務を果たすことが不可欠である。

よって、本市議会は、地域を挙げた不法投棄のなймаちづくりへの取り組みを一層進めていくため、本市において、「不法投棄ゼロ宣言」を行うなど、より積極的な不法投棄防止施策を推進するよう強く要望する。

教育福祉委員会

鹿野学校給食センターの不適切な経理について

執行部から、「食材購入に際し、支出年度の翌年度に納品するよう業者に依頼したこと、は、会計年度独立の原則に反する。職員からの申し出で、平成18年度から21年度までに合計36万7655円支出されたが、目的外使用や私的流用はない」との説明がありました。主な質疑として、「食材を購入するシステムはどうなっているのか」との問いに対し、「給食費を歳入として収入し、その額に見合う食材を歳出として購入する。購入した食材は年度内に納品し、年度内の給食に提供できるよう努めている」との答弁でした。

また、「今まで経理に関する研修会等は実施しなかったのか。また今後の再発防止策は」との問いに対し、「特別な研修を行ったことはない。今後は、問題が起こりやすい年度末に給食センターの所長会議で再確認を行い、その内容は現場

にも共有する。また、現在、食材の納品日を確かめる方法を協議中で、チェック体制も検討しているとの答弁でした。

また、「不適切な処理を行った職員の処分は」との問いに対し、「県の職員であり、市が懲戒処分できない。なお6月2日付けで県に報告しているが、処分の結果は、市にまだ通知がない」との答弁でした。●本件は、今回の報告をもって調査を終了しました。

議会広報特別委員会

当委員会では、昨年6月から議会広報の充実について、各会派から提出された延べ43の検討項目を協議してきました。そのうち、委員会として結論が出たものを報告します。

【議会だより関係】

- ①5月15日号から、文字を少し大きくする。
- ②委員会行政視察を掲載する。【ホームページ・テレビ放送関係】
- ③本会議休憩中の画面を活用し、議会からの情報をお知らせする。

- ②6月定例会から一般質問の再々放送は試行的に午後3時から行う。

- ③ホームページに議長交際費を掲載するよう議長・事務局長に提案する。

【その他広報活動関係】

- ①ケーブルテレビの文字放送で定例会の開催日程をお知らせする。

- ②各総合支所及びコアプラザののに市議会放映中の看板を設置する。

●周南市議会では、ホームページ、ケーブルテレビ、議会だよりを使い、市民の皆様積極的に情報発信しています。今後も、議会広報の充実に向け、引き続き検討してまいります。



本会議の生中継を放映しています
(鹿野総合支所ロービー)

安定した財政運営のあり方を研究

財政問題調査特別委員会を設置

6月23日の本会議で、委員会提出議案として、新しく財政問題調査特別委員会の設置を上程し、全会一致で可決しました。

本市の財政状況は、厳しい状況にある上、徳山駅周辺整備をはじめ、西部道の駅整備事業、動物園リニューアル事業など、大規模事業が進行中で、公債費

や維持管理費の増大も懸念されます。特別委員会は、こうした現在の財政状況を正確に把握し、今後の安定した財政運営のあり方を研究するために設置しました。



どうなった？あの陳情

中心市街地活性化の拠点として 医療・福祉施設の駅南への誘致を求める陳情

採択 平成22年第1回定例会

〔執行部の回答〕

2月から徳山医師会病院の移転について協議を重ねてきたが、徳山医師会から示された以下の移転条件、

- ①本館を移転する場合、西館及び徳山看護専門学校を含む全面移転
 - ②市による土地確保
 - ③本館新築費用40億円以上の資金手当て
- を再度検討した結果、財政面・時間的にも難しく、誘致を断念せざるを得ないと判断し、5月6日に徳山医師会病院へその旨を伝えた。

議案の議決結果

市長提出議案22件、委員会提出議案2件の本会議における議決結果です。

市長提出議案：平成21年度補正予算	議決結果
◆一般会計補正予算（第10号）の専決処分を報告し承認を求めること⇒5,066万9千円増額	承認（全会一致）
◆国民健康保険鹿野診療所特別会計補正予算（第4号）の専決処分を報告し承認を求めること⇒1,229万円増額	承認（全会一致）
◆同和福祉援護資金貸付事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分を報告し承認を求めること⇒24万3千円増額	承認（全会一致）

市長提出議案：平成22年度補正予算	議決結果
◆一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告し、承認を求めること⇒5,197万5千円増額	承認（全会一致）
◆一般会計補正予算（第2号）⇒1億4,941万1千円減額	可決（全会一致）
◆国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の専決処分を報告し、承認を求めること⇒4,494万円増額	承認（全会一致）
◆老人保健特別会計補正予算（第1号）⇒454万9千円増額	可決（全会一致）

市長提出議案：条例改正など	議決結果
◆公平委員会委員の選任について⇒山本康夫氏	同意（全会一致）
◆教育委員会委員の任命について⇒原田明氏	同意（全会一致）
◆市税条例の一部改正の専決処分を報告し、承認を求めること⇒地方税法の一部改正に伴うもの	承認（全会一致）
◆市税条例の一部改正⇒地方税法の一部改正に伴うもの	可決（全会一致）
◆国民健康保険条例の一部改正の専決処分を報告し、承認を求めること⇒国民健康保険法施行令の一部改正に伴うもの	承認（全会一致）
◆水道事業の設置等に関する条例の一部改正⇒給水区域に東津木と西津木を加えるもの	可決（全会一致）
◆字の区域の変更について⇒湯野地区の字の区域の変更	可決（全会一致）
◆市道の認定及び廃止について⇒認定29路線、廃止5路線	可決（全会一致）
◆国民健康保険条例の一部改正⇒国民健康保険法改正及び政令の公布に伴うもの	可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について⇒新南陽浄化センター電気設備工事（その36）	可決（全会一致）
◆監査委員の選任について⇒立石修議員	同意（全会一致）
◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正⇒児童扶養手当法の一部改正に伴うもの	可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について⇒遠石小学校屋体改築主体工事	可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について⇒住吉中学校屋体改築主体工事	可決（全会一致）
◆工事請負契約の締結について⇒防災行政無線施設整備工事	可決（賛成多数）

委員会提出議案	議決結果
◆廃棄物の不法投棄防止施策の推進に関する要望決議について〔環境建設委員会〕	可決（全会一致）
◆財政問題調査特別委員会の設置について〔議会運営委員会〕	可決（全会一致）

陳情	
◆所得税法第56条の廃止を求める意見書について	継続審査

書類提出：出資法人の経営状況について（7法人）

報告：繰越明許費繰越計算書（4件）、水道事業会計予算繰越計算書（1件）、継続費繰越計算書（1件）、損害賠償の額を定めることに関する専決処分について（5件）、

徳山モーターボート競走事業会計予算の弾力条項の適用について、障害者福祉計画の策定について

議会報告：例月出納検査の結果について（4件）、定期監査報告について（4件）、議員表彰について（2件）、陳情の処理の経過及び結果報告について、財政援助団体等監査（出資団体監査）の結果について

行政報告：防災行政無線施設整備工事に係る入札の中止について、契約議案の提案見送りについて

QA 一般質問

(要旨)

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長など執行機関の考えや方針を問い質す^{ただ}ものです。ここでは、質問項目を一つに絞って掲載しています。

15万人参加で
動物園リニューアルを

刷新クラブ 得重謙二

問 来年度から、ついに動物園のリニューアルに入る。動物園は周南市民一人ひとりの共有財産であり、リニューアルに関しては、市民15万人を参加させるべきと考える。小さなことでもいいから、多くの市民がリニューアル事業に参加できるように、工夫すべきだと思うがどうか。

答 全員参加型の動物園づくりをしたい。いろいろな計画を逐一オープンし、その中でお手伝いしていただきたい。いろいろな意味で、専門

家もアマチュアも参加した動物園づくりをしていきたい。



リニューアル計画で示された徳山動物園全体の鳥かん図(イメージ)

ぬくもりのある

地域の生活交通は

顕政会 坂本心次

問 ①バス路線の利用促進、
②新たな交通システム

の構築、③多方面による移動方法の確保、この3つの基本方針を、どのように考えているか。



大向・長穂地区と沼城小学校を結ぶスクールバス

答 ①既存バス路線を積極的に利用促進する。利用者の行動パターンに応じた路線の再編成、公共施設等を

利用した待合場所の確保、車両のバリアフリー化を検討する。

②防長バスと連携し、構築を図りたい。特に乗り合いタクシーの運行や家用自動車による有償運行等も検討する。③スクールバスの混乗という利用も考える。今年度中に具体的な実施計画を提案する。

小零細事業者の育成と
地域経済の活性化を

刷新クラブ 田中和末

問 地域活性化・経済危機対策臨時交付金等による不況対策事業が多く展開されているが、小零細事業者への効果は上がっていないのでは

ないか。事業者の育成、地域経済の活性化という観点から、「住宅リフォーム助成制度」※小規模工事等契約希望者登録制度の創設を。

答 「住宅リフォーム助成制度」については、国の緊急経済対策等の中で考えていきたい。「小規模工事等契約希望者登録制度」については、制度の導入を考えていないが、発注は可能なので、担当部局に相談してもらいたい。

用語の説明

※小規模工事等契約希望者登録制度
市の入札参加資格者登録名簿に登録されていない業者を名簿登録し、30～50万円程度の小規模修繕工事等を優先的にその名簿登録業者に発注する制度

合併浄化槽維持管理負担の公平化を

刷新クラブ 西林幸博

問 市民生活のインフラのうち、電気料金、水道料金は市街地も中山間地でも大差はないが、下水処理費用は、事業内容で個人負担が大きく変わる。新たな水洗化推進制度により、合併浄化槽設置費用にかかる90%補助などは評価するが、維持管理負担を公共下水道料金並みにできないか。設置時に7人家族の場合、7人槽を設置するが、将来家族が2人になって

も7人槽の維持管理負担をしなければならぬ。

答 合併処理浄化槽に比べ、農業集落排水の負担が年間約2万円安い。負担の平等性を検討していく。



家庭用小型合併処理浄化槽。生活雑排水と、し尿をあわせて浄化する。

棚田保全に対する取り組みは

新政会 土屋晴巳

問 「やまぐち棚田20選」に井谷・大道理鹿野地・小畑・四郎谷・中須北地区が認定された。

1 「いのち育む里づくりプロジェクト」との関連と中山間地域指定以外の地区(井谷・小畑・四郎谷)の位置付けは。

2 今後の広報活動は。

答 1 プロジェクトの対象は、市だけで決めるものではない。今回認定された棚田5地区は、当然、いのち育む里づくり部が担当する。

2 国道等への道標板設置やホームページ等を利用し、四季折々の彩りを積極的にPRしたい。フォトコンテストの開催や将来、道の駅での棚田米の販売も検討したい。

「AEDマップ」作成で安心安全アップを

参輝会 岩田淳司

問 AEDを所有する民間施設等の多くが、その地域住民の使用や持ち出しに理解を示していただいている。

市は民間を含めたAED所有施設を調査し、地域住民がだれでもそれを使えるよう、官民両方の施設が掲載された「AEDマップ」を作成配布してはどうか。

答 早速、支所・公民館レベルで調査に取り組み、地域の安心安全に貢献する「マップ」を作成したい。また、AED設置施設には、住民にその設置が分かるような旗や認識板等の効果的なものをつくり、その表示に協力いただけるよう検討したい。

水道ビジョンに伴う

水道施設の耐震化計画は

刷新クラブ 小林雄二

問 災害時におけるライフラインとして、水道水

の安定確保は重要であり、県下各市の耐震化率は地域格差がある。計画的な事業計画を策定すべきではないか。

答 今回、厚生労働省が公表した平成20年度末の基幹管路における耐震管の布設割合は、本市は6.5%で、県下の耐震化率は低い方に位置していると認識している。

幹線道路には、特に耐震性が低い石綿セメント管が残存しており、平成23年度までに解消できるよう協議している。水道ビジョンは今年度中に策定し、耐震計画を立案する。

「ごみの新しい分別に市民の協力を

参輝会 徳原尚一

問 リサイクルプラザの開設に伴い、今年11月から新しい分別方法でごみを出すことになる。市民の負担が大きくなるが、きちんと出していただくことで、今まで埋め立てられてきたごみが資源になる。ごみの分別方法とあわせて、分別したごみがどんな資源になるのかを伝えること

で、市民の協力が得られるのではないかと。

答 燃やせないごみを分別し、再資源化を進めていきたい。どんな資源になるかも含めて市民に説明し、協力を求めたい。



来年3月の稼働に向け、工事が進む(仮称)周南市リサイクルプラザ

今後建設予定の大型公共施設の省エネ対策は

参輝会 長嶺敏昭

問 新駅ビル、給食センター、道の駅、学び・交流プラザ、動物園リニューアル等、これからの大型公共施設のランニングコストの増大を

削減するため、省エネ対策は

危ぐする。太陽光発電、断熱建材の使用等、省エネ対策に有利な起債を運用した初期投資が必要ではないか。

答 本市は全国的にも日照時間が長いということ

で、ソーラーパネルを使ったエコタウン構想はしっかりできると思う。今後の各種公共施設においても費用対効果を検証しながら、合併特例債の運用や経済産業省の応援を受け、積極的に取り組んでいく。

国体に向けて 進ちよく状況を問う

参輝会 青木義雄

問 長期間にわたり準備してきた山口国体の開催

まで500日を切った。今年のリハーサル大会開催などを契機に、全市的な機運を醸成していく必要がある。現実味を帯びてきた中で、ハード面・ソフト面などの進ちよく状況と今後の取り組みを問う。

答 開催6競技会場については、床の研磨やリニューアルした庭球場など、順調に進んでいる、野球場の

改修はこれから行う。ソフト面では、企業とタイアップしてのクリーンアップ作戦、花いっぱい運動、大会ボランティア募集等、広範で頑張っている。

視覚障害者用 「音声コード」の普及率は

公明党 金井光男

問 全視覚障害者の実に87%が点字を読むことが

できない。そうした人のために活字文書読上げ装置があるが、音声コード付き文書であれば、書類の内容を音声で聞くことができる。本市が発行する書類、特に、プライバシー情報を伴う通知等を音声コード化し、視覚障害者に対応できるシステムに改善すべきと考えるが、今後の対応を問う。

答 今回の質問をきっかけに、全庁的な取り組みを推進するため、早速、庁内で取り組みを検討してほしいという文書を流した。



音声読み上げ装置。文書の右下にある音声コード(約2センチ四方)には、約800文字が内包できる



地域包括支援センターの 機能強化と支援策を

新政会 清水芳将

問 1 地域包括支援センター職員が、急増する介

護相談を抱えながら、ケアプラン作成業務に追われている現状に対し、市は直接的な支援策を考える時期にあるのでは。

2 地域包括支援を統括する立場にある市の職員に、社会福祉士の有資格者がいないのは問題だと思うがどうか。

答 1 国への働きかけはもちろん、ケアプラン

作成単価等も含む諸問題は、再開した4センターとの定期会議の中で積極的に協議したい。

2 ワンストップの総合相談窓口開設という課題も含め、できるだけ早期に体制を見直していきたい。

学校における薬物乱用 防止教育の現状は

公明党 反田和夫

問 最近、カラルでかわいらしい違法ドラッグ

と呼ばれる薬があるため、ファッション感覚で薬物を乱用し、罪悪感のないまま使用している現状がある。学校教育における薬物乱用防止のための対策を問う。

答 薬物乱用防止対策は、喫煙や飲酒も含めた包

括的な指導として、小学校の体育科や中学校の保健体育科、道徳、特別活動や総合的な学習の時間など、教育活動全体を通じて行っている。今後自分の健康は自分で守るという意識を高めさせ、自ら実践できるよう指導していきたい。

用語の説明 ※違法ドラッグ

麻薬または向精神薬に指定された成分は含有していないが、それと類似した有害性が疑われる物質

新学校給食センターの 安心安全は

至誠会 長谷川和美

問 ①12力所の新学校給食センター建設基本計画

に変更はないか。進ちよく状況と供用開始を問う。②民間委託の課題は。③各給食センターの残菜は、徳山東400万円、徳山西200万円、新南陽200万円、熊毛50万円、鹿野7000円で、処理費を含め年間約1000万円も捨てている。食数が多いセンターほど給食がおいしくないという子どものサインではないか。

答 ①栗屋・新地センターは、来年1月に開始し、

その他も計画を進める。②民営化は総合的に考える。③残菜は大変もったいない。大型か小規模かの分析はしていないが、優秀な鹿野につなげたい。



給島・大島も「いのち育む里づくり」重点地域に

民主の会 高松勇雄

問

いのち育む里づくり部の目的は何か。対象地域に給島・大島を入れられないか。人口増加に向けて、鼓南地区発展協議会等の自治活動にも物心ともにサポート体制はとれないか。

答

給島・大島地区もいのち育む里の対象地域とする。地域人口の増加をはじめ、地域から転入できるよう空き家の現状把握・改修等も含め情報を発信する。将来的に子どもたちが増え、学校も残せるようにしていく活動は、まさに当部の目的である。鼓南のような手づくり自治区は、支所・公民館を含め、地域の中に入り、公として後押しする。

補助率を変える施策は変更を

民主の会 炭村信義

問

本年度より開始された高度処理浄化槽設置補

助金を、市内業者施工では設置費の約90%、市外業者施工ではその半分にしている。市内業者の育成、経営健全化は理解できるが、方法が悪い。同じ資金を使うのであれば、市内全業種が恩恵を受けるような施策を考えるべきである。

次に地方自治体は、お互いに協力し合い、相互援助で成り立っている。心の広い施策を。すべての業種で市内優

答

先を考えている。浄化槽設置の場合、市内に49社あることを理解してほしい。将来的には、隣接する市の業者への配慮も検討する。

政策空き家の住み替え制度拡充と内壁の防カビ対策を

公明党 森重幸子

問

公営住宅ストック総合活用計画により、政策空き家で募集停止となっている市営住宅も住み替え制度の対象にできないか。また、内壁のカビ実態調査と防カビ工事の早期実施計画を示せ。

答

建て替え計画により、募集を停止している政策

空き家でも、例えば5階に居住している高齢者が障害者となり、階段の昇降が著しく困難となった場合は住み替えを認めるが、修繕費、浴槽設置など、応分の負担はお願いする。また、他の市営住宅の結露による内壁のカビ発生の実態調査と防カビ工事を早急に実施する。

西部道の駅と市民との 具体的なかかわりは

小坂玲子

問

国との一体型道の駅オープンを目指し、西徳山いけいけフェスタ等の活動を続けてきた地元をはじめ、今後、市は市民とのかわりをどう構築していくのか。市民と夢を共有するため、具体的な展開・構想を説明する必要があると考える。また、経営運営能力がある人材を民間から求めるため、支配人を公募することはできないか。

答

24年度オープンに向け、市民こそが大事なお客様である。今後、共有の夢への実現と理解を得るため、さ

らにPRに努める。支配人は市に縁のある即戦力のある人を考えたい。



3月策定の西部道の駅基本計画で示されたイメージ図

交通教育センターと 周南緑地公園の整備充実を

公明党 吉平龍司

問

合併後の交通教育センターの活用方法として、市全域の親子連れや高齢者が安心安全に公園的学習施設として利用できるよう整備を。また、西緑地公園の森林セラピー構想化と森の案内人認定化を。

答

体験型・実践型の交通安全教育施設として、

PRと施設充実を図りたい。また、森林セラピーの設定やどんな効果が期待できるのかを研究したい。また、市民に樹木見本園を広く正しく知っていただくための案内人認定を西緑地公園を中心として、考えていきたい。



交通教育センターは交通安全に関する知識の普及や自転車の運転技術の向上を図る取り組みを行っています

用語の説明

※森林セラピー

森林が持つ「癒し」効果を使い、医療・リハビリテーション・カウンセリング等、健康を増進していく取り組み

動物園リニューアル 計画の見直しを

日本共産党 形岡 瑛

問 動物園リニューアルに際しては、隣接住宅地域との間に緩衝帯が必要。サファリランドのようなサバンナゾーンが可能か。里山ゾーンの農家や水田は無意味。周辺地域の集中豪雨対策の調整池など、計画の見直しをすべき。



動物園リニューアル基本計画で示された、サバンナゾーンのイメージ図

答 地元対策では、言われることの意を込めながら、基本計画の見直しは十分できる。集中豪雨被害対策と

して、調整池については、このエリアを透水性舗装にすることとあわせて計画を練る。貴重な意見であり、しっかりと対応していきたい。

民営化で保育の安心が 脅かされるのでは

日本共産党 藤井直子

問 市は都市地域の保育所を民営化する考えを示した。民間事業者とはだれを想定しているのか。全国では、パチンコ関連会社が指定管理者になったり、民間委託を受けている。また、保育園をチェーン展開している株式会社は、経営難になると一斉に保育園を閉鎖したり、職員を架空申請していた。職員は給料が安上がりで、新人ばかりで、子どもの安全に不安がある。民営化すれば、このようなことになるのではないか。

答 民営化は、市内の9事業所のうち、社会福祉法人に限って対象とし、株式会社は想定していない。

皆保険制度は崩壊寸前 国保料の引き下げを

日本共産党 中村富美子

問 市は今年度、国保料を引き上げた。保険料が納められず、短期証や資格証の人、失業で会社の保険から国保に加入することができず無保険の人など、市民の貧困化が進む中で、国民皆保険体制が崩れ始めている。本市の国保料は高くて払えず、市民は限界にきている。この先、だれもが国保加入者となる可能性があり、医療保険における最後のとりでである。高すぎる国保料を引き下げるべきである。

答 来年度は、1円も保険料の引き上げはしないことを約束したい。

幼保民営化の推進を

新政会 田村勇一

問 公立幼稚園・保育園の民営化を推進すること
で、運営費の削減を図り、民

間活力の増進はもとより、嘱託や臨時保育士の安定雇用につなげるべき。

答 少子化を迎え、幼稚園と保育園のバランスが崩れてきている。現在の社会経済情勢の中で、共働き家庭が増え、特に公立幼稚園は、在園児数が50%を割り、極端に減少しているのが事実である。そうした中で、民営化の推進は、公のあり方、民間活力の利用等、地域性を考え、今後は実情を考えながら推進していきたい。

徳山駅周辺の浸水と 下水道管老朽化対策を

至誠会 兼重 元

問 下水道は都市基盤を構成する重要な施設であるが、抜本的な対策はどうか。まさに重い課題である。

答 市民にも関心を持ってもらいたい。合流式を採用する徳山駅周辺の中心市街地377ヘクタールは、大雨のときには雨水と汚水が海や河川と一緒に流れる。これを緊急改善事業として、平成22年度

から4年間で実施する。また、老朽化のリセット(造り直し)には、二、三十年(100、200億円超)かかると思う。徳山駅前浸水対策は、バイパス管(徳山商工会議所前から西へ300メートル、平成23年度から4カ年)を新設する。駅前は徳山駅周辺整備計画に併せて実施する。



昨年7月の大雨で浸水した徳山駅北口の地下道



が決まりました

議長に福田文治議員が3選 副議長に米沢痴達議員

6月23日の本会議で議長・副議長の選挙を行い、投票の結果、議長に福田文治議員、副議長に米沢痴達議員が当選しました。

また、議会から選出する監査委員に立石修議員を選任する議案が市長から提出され、これに同意しました。

全員協議会で所信を表明

周南市議会では、投票に至るまでの経緯を透明にするため、議長に立候補する者は、2人以上の推薦人をもって届け出ること、また選挙に先立ち開催される全員協議会で議会運営に対する所信を表明することになっています。

議長選挙には、形岡瑛議員、田村勇一議員、福田文治議員

の3人が立候補しました。

当選した福田文治議員は、「これまでの2年間、議員定数の削減や常任委員会の再編等、さまざまな議会改革に取り組んできたが、まだ自分が理想とする議会には至っていない。議会としてどんなまちづくりがしたいのか、(仮称)条例制定研究会の設置を提案したい」と所信を述べました。



議長 福田文治 議員



副議長 米沢痴達 議員

常任委員会

(◎委員長、○副委員長)

企画総務

所管 いのち育む里づくり

部、企画総務部、財務部、市民生活部、競艇事業部、会計管理者、消防機関、行政委員会等の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

環境建設

所管 環境下水道部、産業

観光部、都市建設部、中心市街地整備部、水道局、農業委員会等の所管に関する事項

◎岸村敬士	西田宏三
○得重謙二	西林幸博
形岡 瑛	福田文治
兼重 元	古谷幸男
炭村信義	吉平龍司
長嶺敏昭	米沢痴達

◎尾崎隆則	反田和夫
○土屋晴巳	立石 修
金井光男	徳原尚一
久保忠雄	中津井求
小林雄二	中村富美子
清水芳将	

教育福祉

所管 健康福祉部、教育委員会等の所管に関する事項

◎青木義雄	田中和末
○小坂玲子	田村勇一
井本義朗	長谷川和美
岩田淳司	藤井直子
坂本心次	森重幸子
高松勇雄	

予算決算

所管 予算、決算に関する事項

◎吉平龍司	清水芳将
○森重幸子	炭村信義
青木義雄	土屋晴巳
井本義朗	長嶺敏昭
形岡 瑛	西林幸博
小林雄二	長谷川和美
坂本心次	古谷幸男

※審査区分により、委員を差し替えることができます。

新しい議会体制

特別委員会

特定事件を審査するため、常任委員会とは別に特別委員会を設置しています。

徳山駅周辺整備対策

所管 徳山駅周辺整備構想の事業化及び新たな交流拠点施設の誘致に関する事

◎清水芳将

西田宏三

◎得重謙二

長谷川和美

坂本心次

藤井直子

高松勇雄

古谷幸男

徳原尚一

吉平龍司

長嶺敏昭

議会広報

所管 議会だよりの編集に関する事、その他議会の広報に関する事

◎土屋晴巳

炭村信義

◎岩田淳司

反田和夫

青木義雄

田中和末

尾崎隆則

中津井求

久保忠雄

中村富美子

坂本心次

財政問題調査

所管 財政問題に関する事

◎兼重 元

小林雄二

◎井本義朗

炭村信義

岩田淳司

田村勇一

尾崎隆則

長嶺敏昭

形岡 瑛

古谷幸男

金井光男

議会運営委員会

円滑な議会運営のため、協議し、意見調整を図る場として設置しています。

所管 議会の運営に関する事項、議会の会議規則や委員会条例に関する事項、議長との諮問に関する事項

◎小林雄二

岸村敬士

◎金井光男

田村勇一

岩田淳司

長嶺敏昭

尾崎隆則

西田宏三

形岡 瑛

古谷幸男

兼重 元

一部事務組合議会議員

周南地区食肉センター組合議会議員

久保忠雄、中津井求

周南地区衛生施設組合議会議員

小林雄二

周陽環境整備組合議会議員

久保忠雄、清水芳将

玖西環境衛生組合議会議員

久保忠雄、清水芳将、徳原尚一

光地区消防組合議会議員

吉平龍司

光地域広域水道企業団議会議員

金井光男、土屋晴巳、中村富美子

周南地区福祉施設組合議会議員

高松勇雄、藤井直子

会派構成

顕政会

◎古谷幸男
○尾崎隆則
坂本心次
立石 修
米沢痴達

参輝会

◎長嶺敏昭
○青木義雄
岩田淳司
徳原尚一
福田文治

公明党

◎吉平龍司
○反田和夫
金井光男
森重幸子

刷新クラブ

◎小林雄二
○西林幸博
田中和末
得重謙二

新政会

◎田村勇一
○岸村敬士
清水芳将
土屋晴巳

至誠会

◎兼重 元
○長谷川和美
中津井求

周南会

◎久保忠雄
○西田宏三
井本義朗

日本共産党

◎形岡 瑛
中村富美子
藤井直子

民主の会

◎炭村信義
○高松勇雄

会派に属さない議員

小坂玲子

〔◎代表 ○副代表〕
人数、五十音順

市議会からのお知らせ

■ 議会を傍聴しませんか

市議会では、市民生活に関係がある重要な問題を審議しています。すべての会議は公開で行われます。

傍聴席入口の受付簿に住所と氏名を記入していただければ、どなたでも傍聴できます。気軽にお越しください。

平成22年9月定例会の予定

9月 7日(火)	本会議
9月 9日(木)～14日(火)	本会議(一般質問)
9月15日(水)	常任委員会 予算決算委員会を除く
9月16日(木)～17日(金)	予算決算委員会
9月24日(金)	本会議

平成22年10月臨時会の予定

10月29日(金)	本会議
-----------	-----

平成21年度の決算認定議案にかかる予算決算委員会は、9月29日(水)、30日(木)、10月6日(水)、7日(木)の予定です。

※本会議、委員会は午前9時30分から開催されます。
※土・日曜日は休会です。また、日程の変更はホームページ等でお知らせします。

私たち、議会広報特別委員が編集しています



議会広報特別委員会は、議会だよりの編集だけでなく、議会広報の充実についての協議も行っています。

これまで、議会交際費をホームページに公開、文字放送による議会開催のお知らせなど、さまざまな提案を行い、実施してまいりました。

皆さんが市議会に関心を持っていただけるよう、今後も積極的な情報発信をしていきます。

■ あなたの声をお聞かせください

「議会だより」について、あなたのご意見をお聞かせください。読みやすく、親しみやすい紙面づくりの参考にさせていただきます。

TEL 0834-22-8503 FAX 0834-22-8506

Eメール gikai@city.shunan.lg.jp

■ 市議会ホームページ

周南市議会 検索

クリック

● 議会交際費(平成22年度分～)を掲載しています。

● 議員名簿や議会の活動状況、会議の日程・テレビ放送の予定などを掲載しています。

● 本会議や委員会の会議録が閲覧できます。

● 「議長室(議長の動き)」を公開中です。

市議会携帯サイト

<http://www.city.shunan.lg.jp/hp/gikai/mobile>



右の2次元コードを読み取るか、アドレスを入力してください。

■ ケーブルテレビ議会中継

本会議の様子を実況放送します

放送の日程は、左上の予定のとおりです。一般質問は、再放送・再々放送を行っています。

● 再放送:午後6時から

● 再々放送:午後3時から

※本会議の生中継と重なる場合は、本会議終了後から放送します。

C C S……………11ch

K ビジョン……………16ch

メディアリンク……………5ch・9ch

委員会の様子を録画放映します

委員会の審査の様子を2時間程度にまとめた番組を放送しています。放映日程はホームページでお知らせします。

山口国体を応援します

国体リハーサル大会の大会参与に就任

市議会は、おいでませ！山口国体を応援します。本市では、正式競技が6競技、デモンストレーションとしてのスポーツ競技が2競技開催されます。

国体を来年に控え、今年は国体リハーサル大会が開催されています。議員もこの国体リハーサル大会の大会参与に就任しました。

